

経営比較分析表（令和4年度決算）

長崎県長崎県病院企業団 富江病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	6	-	透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中後病院	看護配置
-	3,092	第2種該当	-	13：1

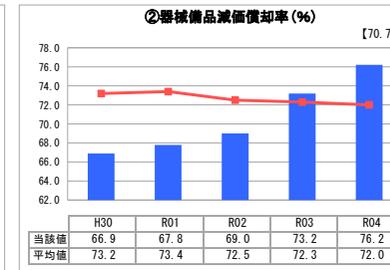
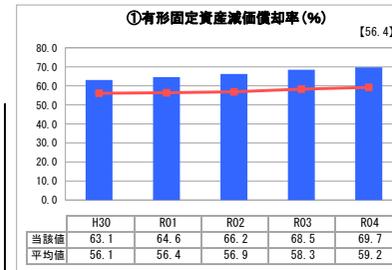
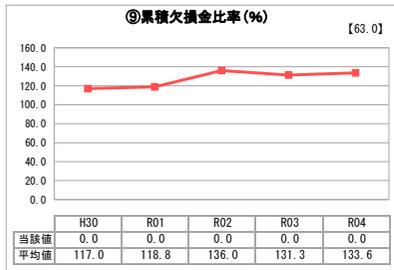
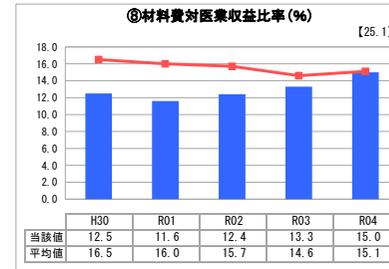
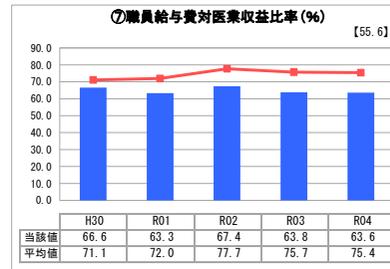
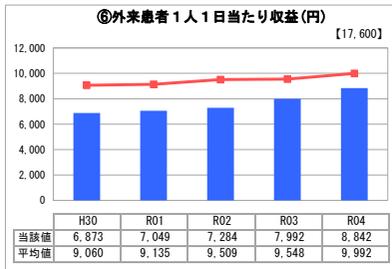
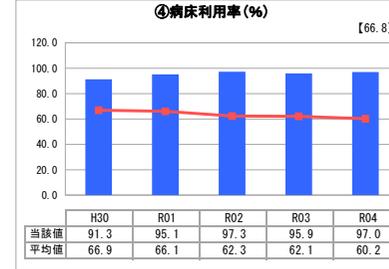
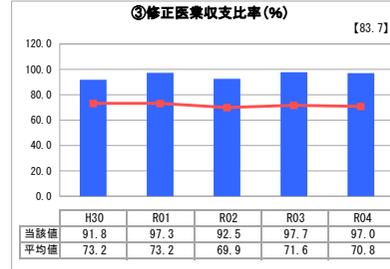
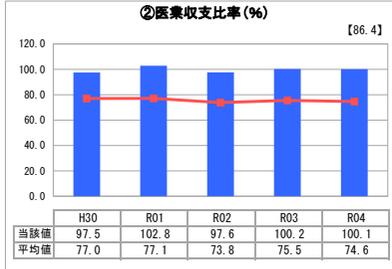
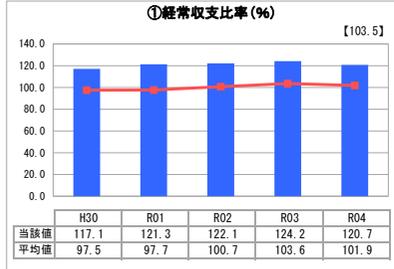
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
55	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	55
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
55	-	55

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
業務分限・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成21年度	年度	年度

I 地域において担っている役割
 五島市富江地区における地域病院として、慢性期及び回復期を中心とした医療を提供し、救急医療にも対応している。病床利用率は高水準を維持できているが、平均在院日数の増加等による入院基本料の減や給食料の減により診療単価が減少している。類似病院平均値よりも大きく下回っており、今後は更なる退院先施設等との連携を深め診療単価の増加に繋げたい。また外来収益においては在宅等への訪問診療、訪問看護の増加により診療単価が増加したが、平均値を下回っている為、今後は患者確保の取組みが必要である。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支及び修正医業収益においても高水準を維持しており、収益状況は良好であるが、入院収益において減少が見られた。病床利用率は高水準を維持できているが、平均在院日数の増加等による入院基本料の減や給食料の減により診療単価が減少している。類似病院平均値よりも大きく下回っており、今後は更なる退院先施設等との連携を深め診療単価の増加に繋げたい。また外来収益においては在宅等への訪問診療、訪問看護の増加により診療単価が増加したが、平均値を下回っている為、今後は患者確保の取組みが必要である。

費用面に関しては良好な状態であるが、材料費が増加傾向にある為、在庫管理の徹底や後発医薬品採用の検討、納入単価の価格交渉を図り、費用抑制に努めたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は平均よりも高い水準となっている。医療機器等の老朽化が進んでいることから診療に影響を及ぼす前に計画的な更新を図る必要がある。なお更新に当たっては、機種選定委員会において機能性と有用性、コスト面から適切に検討する。またインフラ設備についても類似病院と比較して老朽化が進んでいる為、インフラ長寿命化計画に基づいた計画的な更新を検討する。

全体総括

今後も良好な経営水準を維持し、富江地区における地域病院として他機関との連携を強めながら、安定した医療を提供していくことが目標である。

入院収益については地域包括ケア病床の安定的な運営を目指し、健康診断の受診率向上や在宅等の訪問診療、訪問看護の充実を図ることで病院収益の確保に努めたい。

費用面に関しては薬品等における材料費抑制やLED照明器具への更新による光熱費の削減、各部門の業務効率化による時間外勤務の縮小を目指し、良好な経営水準を保ちながら質の高い医療提供体制の構築に努めたい。

また固定資産の老朽化が進行している為、診療に影響を及ぼす危険性があるものを定期院内ラウンドにて適切に把握し、修繕と更新の必要性や緊急性、コスト面から長期的な視点を持って検討することが必要である。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。